

添付品・リモコンについて

超解像技術搭載ワイド液晶ディスプレイ

添付品を確認する

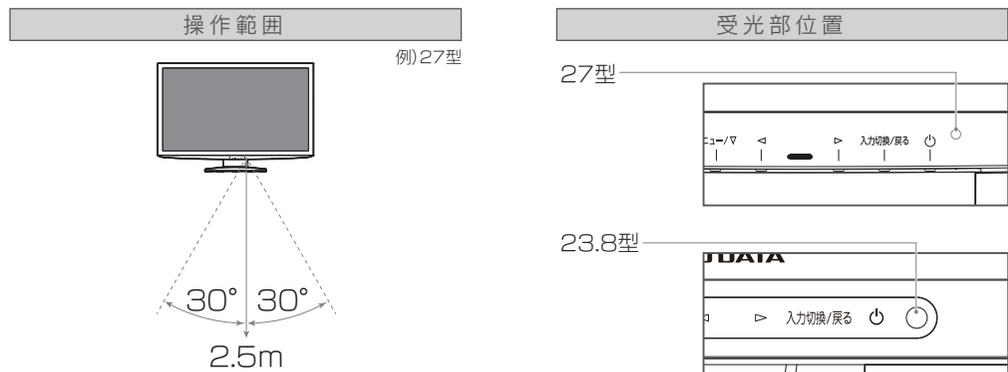
- | | | |
|--|--------------------------------------|--|
| <input type="checkbox"/> 台座 | <input type="checkbox"/> DVI-D ケーブル |  |
| <input type="checkbox"/> 取扱説明書 | <input type="checkbox"/> アナログRGBケーブル |  |
| <input checked="" type="checkbox"/> 添付品・リモコンについて | <input type="checkbox"/> オーディオケーブル |  |
| <input type="checkbox"/> リモコン・動作確認用電池 | <input type="checkbox"/> 電源コード |  |



•電池をセットする際は、リモコンの裏プタを開け、**単4形乾電池を2本**入れます。
•添付の電池は動作確認用です。早めに新しい乾電池に交換してください。

リモコンの操作範囲について

リモコンを受光部に向けて、左右にそれぞれ 30°、2.5m 以内で操作してください。



使う

電源を入れる / 切る

音を消す / 解除

映像の遅れを低減 / 解除

スルーモード

画像処理の機能を制限することで内部遅延を低減する機能です。
※子画面の表示ができなくなったり、画質の低下などが起こる場合があります。
※表示中の映像の垂直周波数(リフレッシュレート)が60Hz以外の場合は使えません。

音量 / 明るさを調節する

※本製品正面の◀▶でも調節できます。

音声を切り換える

※映像表示に関係なく切り換えられます。

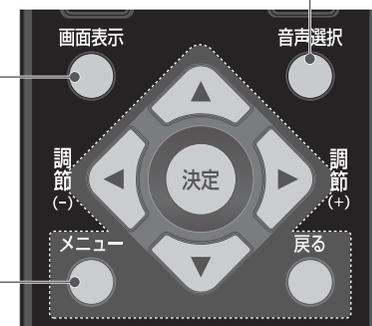
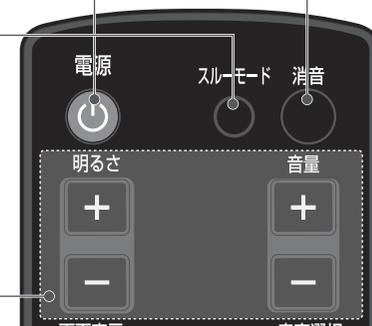
情報を表示する / 閉じる

設定メニューを開く

- ◀▶ 項目を移動する
- ↑↓ 値を調節する
- 決定 項目・値を決定する
- 戻る 前の項目に戻る

ブルーリダクション機能を使う

パソコンで作業をする際に目が疲れる原因とされるブルーライトを低減させる機能です。効果を強くするほど、画面は黄色く見えます。
設定メニューの [色温度] → [Blue R] を選ぶと、ブルーリダクション機能を使えます。



使う (続き)

機器を操作 (MHL/CEC)

右の枠内のボタンを使って操作できます。
 ※メニューを1秒以上押し続けると、MHLでは「ホームに戻る」、HDMI (CEC) では「メインメニューを表示」の操作になります。
 ※CEC機能を使うには、設定メニューの[ツール]→[CEC]を[入]に設定する必要があります。
 ※機器・アプリによっては、一部または全部の操作ができないことがあります。

表示する映像を切り換える

※親画面を切り換えます。
 ※PCボタンはD-SUBとDVI-Dを交互に切り換えます。

子画面を操作する

入切 子画面を表示/非表示する
 入力切換 子画面の映像を切り換える
 ※親画面と子画面の両方にHDMIの映像を表示することはできません。

親画面と子画面を入れ換える

親子切換



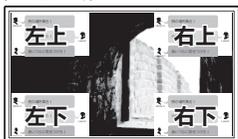
子画面のサイズを切り換える (3段階)

サイズ



子画面の位置を切り換える (4か所)

位置



スタイル

MHL 接続した機器の縦横を切り換える



子画面タイプ (PinPとPoutP)

子画面タイプは「PinP」に設定されています。設定メニューの [2画面]→[子画面タイプ] で変更できます。



親画面内に子画面を表示します。



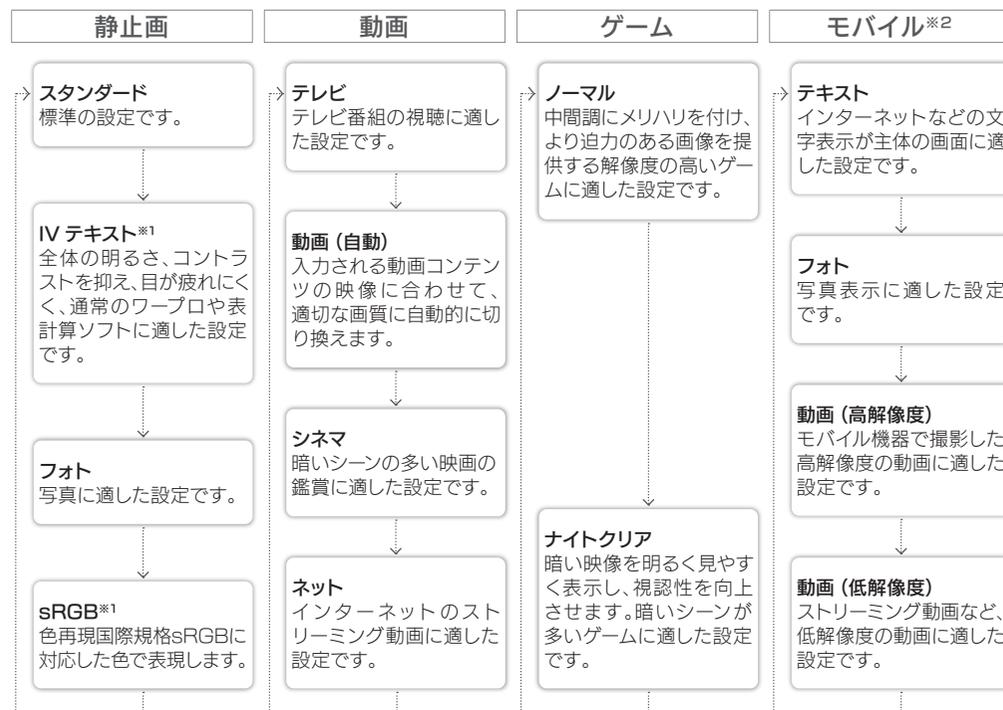
親画面と子画面を並べて表示します。
 ※[サイズ] [位置] は機能しません。

超解像レベルを調節する

※親画面に適用されます。

表示内容に最適な表示にする

DV MODE は表示内容に合わせた画質が設定されたモードです。ボタンを押すたびに、その利用シーン内でモードが切り換わります。 ※親画面に適用されます。



*1 MHL/HDMI1、HDMI2～4では、「静止画」の「IVテキスト」「sRGB」を選ばません。

*2 「モバイル」のすべてのモードは、D-SUB入力では選べません。

設定メニューについては、『画面で見るマニュアル』をご覧ください

27型



<http://www.iodata.jp/p/150256>

23.8型



<http://www.iodata.jp/p/150255>

超解像

映像の解像感を高め、映像を鮮やかに美しく再現する機能です。
 解像度の低い動画を見るときなどに、映像のボケを低減します。